企業分析レポート
～小林製薬株式会社とロート製薬株式会社～

経済学部　総合経済政策学科　4 学年
1311550000

1.　企業の概要

今回は、私が最も興味のある企業である「**小林製薬株式会社**」と「**ロート製薬株式会社**」の企業分析および経営比較を行った。

- **小林製薬株式会社（Kobayashi Pharmaceutical Co., Ltd.）**

住所　　〒541-8057　大阪市中央区道修町四丁目四番十五号
設立年　1940 年

1886 年、創業者の小林忠兵衛が、名古屋に雑貨や化粧品の店として合名会社小林盛大堂を創業し、大効丸、一日丸などといった自家製薬品を販売したのが始まりで、その後大阪に拠点を移し、合資会社小林大薬房、株式会社小林大薬房と名前を変え、1940 年現在の社名である小林製薬株式会社が設立された。

1967 年には、現在でも小林製薬の看板商品である外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」、1969 年には水洗トイレ用芳香洗浄剤『ブルーレット』を発売。その後医薬品業界だけではなく、日用品分野、医療機器分野、衛生雑貨分野にも参入している。

また日本だけでなく、香港、マレーシア、オーストラリアなどといった海外への進出も果たし、順調に活動拠点を広げている。

コーポレート・スローガンは「あったらいいなをカタチにする」。従業員は常に顧客も気づいていない必要なものを発見し、「あったらいいな」をカタチ（製品・サービス）にすることを何より大切にする、とても顧客思いの企業である。

また製品開発において、非常に小回りの効く企業として知られており、のどぬ～るスプレー、熱さまシートなどといったユニークなネーミングの商品が多く、顧客にとって親しみやすいものになっている。

- **ロート製薬株式会社（ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.）**

住所　〒544-8666　大阪府大阪市生野区巽西一丁目 8 番 1 号
設立年　1949 年

1899 年、大阪で信天堂山田安民薬房を創業し、1909 年には現在の社名の由来となった点眼薬「ロート目薬」を発売。そして 1949 年、現在の社名であるロート製薬株式会社が設立された。

その後 1962 年には胃腸薬パンシロン、1987 年には点眼薬アルガード、ロートジーなどといった商品を発売。現在は胃腸薬や、目薬をはじめとする一般用医薬品（OTC 医薬品）やスキンケア製品に尽力しており、中でも主力の目薬業界ではトップシェアを誇る。

また、グループ企業としてアメリカ合衆国のメンソレータム社を傘下に置き、メンソレータム軟膏 c、メンソレータム薬用リップスティックなどといった定番商品も続々と発売されている。

コーポレート・スローガンは「NEVER SAY NEVER」。決してあきらめないこと、不可能を可能に変えていくこと、常識の枠を超えて挑み続けることを目標に、従業員の決してあきらめない決意で、常識を超えるような新しい商品を生み出し、世界中に美と健康を届ける努力を怠らない、とても熱い企業である。

また東日本大震災後の復興支援活動にも積極的に参加し、国民に寄り添い続けている。

2.　要約財務諸表および財務分析表

EDINET の有価証券報告書内の連結財務諸表等を参考に、2 社の要約財務諸表を作成した。なお使用するデータは、2012 年～2016 年のものとする。

2.1　小林製薬株式会社

小林製薬株式会社の連結貸借対照表

［単位：百万円］

連結貸借対照表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
資産合計	147,890	157,106	170,919	186,331	188,997
流動資産	102,538	94,353	105,614	115,990	120,347
当座資産	85,883	78,128	89,823	98,872	101,877
固定資産	45,352	62,753	65,304	70,340	68,650
繰延資産	0	0	0	0	0
負債合計	46,011	42,234	43,965	46,720	46,974
流動負債	37,791	34,477	34,216	35,890	36,481
短期借入金・リース債務	396	266	164	122	247
1 年内返済社債・長期借入金	―	―	―	―	―
固定負債	8,220	7,757	9,749	10,829	10,492
社債	0	0	0	0	0
長期借入金・リース債務	―	―	―	―	―
純資産合計	101,879	114,872	126,953	139,611	142,023
資本金	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219	4,219	4,219	4,953
利益剰余金	101,127	109,946	118,731	127,858	137,486
自己株式（減算）	-4,702	-4,703	-4,706	-6,207	-13,179
株主資本合計	104,094	112,912	121,695	129,320	132,710
その他の包括利益累計額合計	-2,374	1,958	5,174	10,076	9,163
自己資本合計	101,720	114,870	126,869	139,396	141,873
新株予約権	159	―	83	191	75
非支配株主持分	―	0	0	22	75
負債・純資産合計	147,890	157,106	170,919	186,331	188,997

表 1

小林製薬株式会社の連結および包括利益計算書

［単位：百万円］

連結損益および包括利益計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売上高	121,532	127,293	128,344	137,211	120,051
売上原価	51,732	54,193	54,718	57,518	48,638
売上総利益	69,799	73,099	73,626	79,693	71,412
販売日および一般管理費	52,895	54,977	55,708	61,432	54,003
営業利益	16,903	18,122	17,917	18,260	17,409
営業外収益	2,676	2,067	1,965	1,537	2,946
営業外費用	902	1,421	1,039	1,847	855
支払利息＋社債利息	24	18	22	33	21
経常利益	18,677	18,769	18,843	17,949	19,499
特別利益	2,661	1,230	1,349	1,395	1,807
特別損失	2,485	333	136	589	1,505
税金等調整前当期純利益	18,853	19,666	20,056	18,755	19,802
法人税等合計	6,676	7,360	7,608	5,300	5,544
当期純利益：2015 年 3 月以降	12,176	12,306	12,448	13,454	15,399
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	-10	-64
親会社株主に帰属する当期純利益	12,176	12,307	12,448	13,455	14,257
その他の包括利益	4,333	4,080	4,902	-917	-1,142
包括利益	16,509	16,386	17,350	12,537	14,257
親会社株主に係る包括利益	16,510	16,387	17,351	12,552	13,189
非支配株主に係る包括利益	0	0	0	-15	-75

表 2

小林製薬株式会社の事業利益の計算

［単位：百万円］

事業利益の計算	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
経常利益	18,677	18,769	18,843	19,749	9,499
支払利息	24	18	22	33	21
社債利息	0	0	0	0	0
事業利息	18,701	18,787	18,865	17,982	9,520

表 3

小林製薬株式会社の連結キャッシュ・フロー計算書

［単位：百万円］

連結キャッシュ・フロー計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
営業活動による CF	9,242	13,513	15,445	14,329	16,097
投資活動による CF	-26,605	-6,959	-4,540	-10,932	-519
フリー・キャッシュ・フロー	-17,363	6,554	10,905	3,397	15,578
財務活動による CF	-3,729	-3,809	-5,155	-10,199	-11,922
現金および現金同等物の換算差額	578	831	751	-167	-760
現金および現金同等物の純増加額	-20,513	3,576	6,500	-6,971	2,894
現金および現金同等物の期首残高	42,835	22,322	25,898	32,399	25,428
現金および現金同等物の期末残高	22,322	25,898	32,399	25,428	28,322

表 4

小林製薬株式会社の財務分析表

［単位：百万円］

財務分析表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
収益性分析					
ROE（自己資本純利益率）	12.0%	10.7%	9.8%	9.7%	10.0%
売上高当期純利益率	10.0%	9.7%	9.7%	9.8%	11.9%
自己資本回転率	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8
ROA（総資本事業利益率）	12.6%	12.0%	11.0%	9.7%	5.0%
売上高事業利益率	15.4%	14.8%	14.7%	13.1%	7.9%
総資本回転率	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8
売上総利益率	57.4%	57.4%	57.4%	57.4%	59.5%
売上原価率	42.6%	42.6%	42.6%	42.0%	40.5%
売上高営業利益率	13.9%	14.2%	14.0%	13.3%	14.5%
短期的支払能力分析					
流動比率	271.3%	273.7%	308.7%	323.2%	329.9%
当座比率	227.3%	226.6%	262.5%	275.5%	279.3%
長期的支払能力分析					
負債比率	45.2%	36.8%	34.7%	33.5%	33.1%
自己資本比率	68.8%	73.1%	74.2%	74.8%	75.1%
利益カバー比率	77920.8%	104372.2%	85750.0%	54490.9%	45333.3%
長期運用安定性分析					
固定比率	44.6%	54.6%	51.5%	50.5%	48.4%
固定長期適合率	41.2%	51.2%	47.8%	46.8%	45.0%

表 5

小林製薬株式会社の利益・株価分析表

財務分析表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
	25 年 3 月期	26 年 3 月期	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期
当期純利益：2015 年 3 月以前（百万円）	11,726	12,176	12,307	12,448	13,466
当期純利益増加率	－	3.8	1.1	1.1	8.0
株価（円）	2,070 (2013/3/1)	2,273 (2014/3.1)	2,975 (2015/3/1)	4,300 (2016/3/1)	4,940 (2017/3/1)
株価上昇率	－	9.8	30.9	44.5	14.9
発行済株式総数（株）	4,2525,000 (2013/3/1)	4,2525,000 (2014/3/1)	4,2525,000 (2015/3/1)	4,2525,000 (2016/3/1)	4,2525,000 (2017/3/1)
株式時価総額（百万円）	880,268	966,593	1,265,119	1,828,575	2,417,550
株式時価総額増加率	－	9.8	30.9	44.5	20.0
EPS（円）	275.74	286.33	289.41	292.72	77.15
PER（倍）	75.07	79.39	102.80	146.90	265.72

表 6

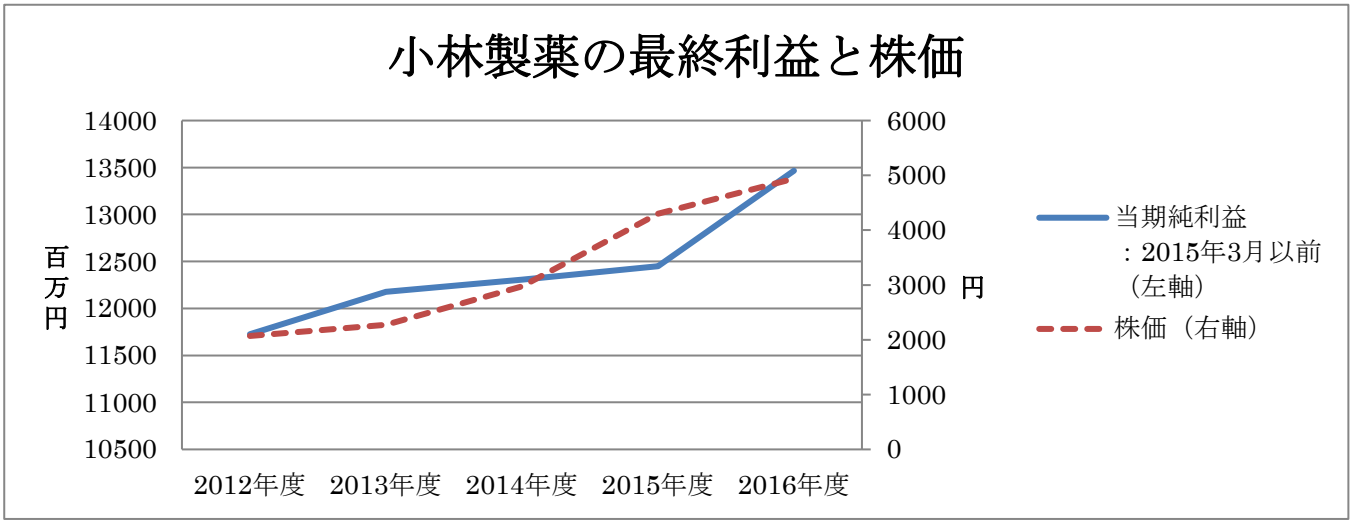

図 1

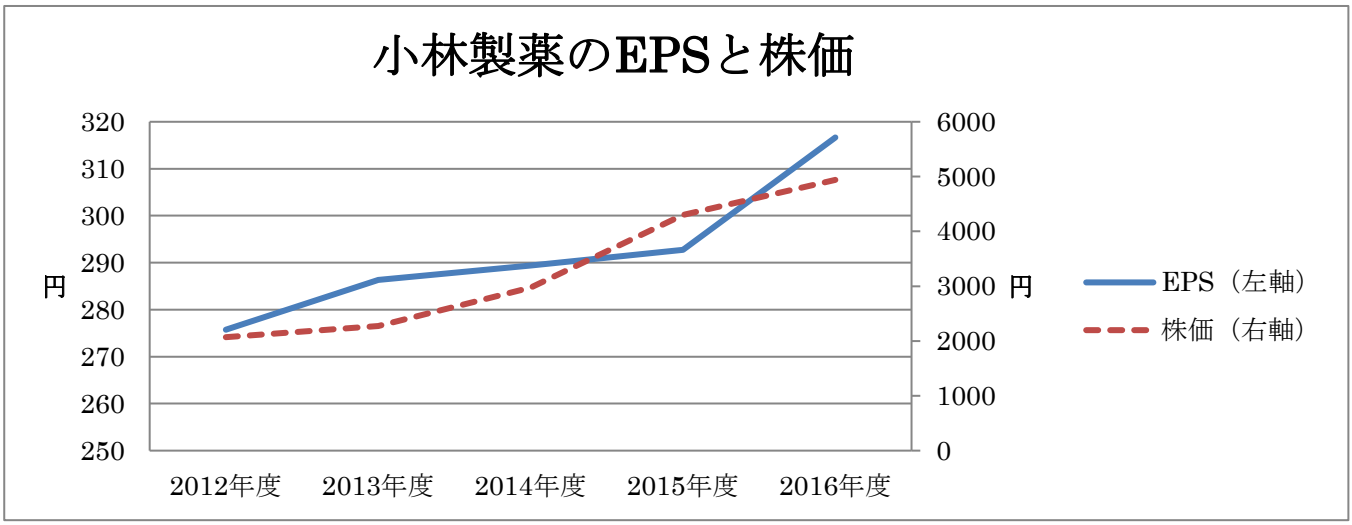

図 2

2.2　ロート製薬株式会社

ロート製薬株式会社の連結貸借対照表

［単位：百万円］

連結貸借対照表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
資産合計	136,008	150,643	162,249	177,509	179,573
流動資産	71,280	77,467	82,981	93,692	101,752
当座資産	47,185	51,708	51,272	58,018	60,243
固定資産	64,727	73,175	79,268	83,816	77,821
繰延資産	0	0	0	0	0
負債合計	52,380	56,871	63,622	66,993	68,301
流動負債	44,935	49,554	56,643	57,607	59,357
短期借入金・リース債務	5,103	5,611	8,216	8,349	4,452
1 年内返済社債・長期借入金	3,335	1,578	1,666	1,074	994
固定負債	7,445	7,316	6,979	9,385	8,944
社債	0	0	0	0	0
長期借入金・リース債務	3,335	1,578	1,666	1,074	994
純資産合計	83,627	93,771	98,627	110,516	111,271
資本金	6,405	6,408	6,411	6,411	6,411
資本剰余金	5,524	5,527	5,738	5,738	5,738
利益剰余金	73,814	79,677	86,505	92,315	98,675
自己株式（減算）	-270	-273	-5,785	-5,451	-5,207
株主資本合計	85,475	91,341	92,869	99,013	105,618
その他の包括利益累計額合計	-2,701	1,535	4,809	10,507	4,621
自己資本合計	82,774	92,876	139,396	109,520	110,239
新株予約権	579	573	568	568	568
非支配株主持分	273	320	379	425	462
負債・純資産合計	136,008	150,643	162,249	177,509	179,573

表 7

ロート製薬株式会社の連結および包括利益計算書

［単位：百万円］

連結損益および包括利益計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売上高	129,146	143,822	151,774	167,016	154,599
売上原価	52,792	57,924	61,395	67,250	63,254
売上総利益	76,353	85,897	90,379	99,766	91,344
販売日および一般管理費	61,493	69,336	77,440	83,543	75,893
営業利益	14,380	16,821	13,159	15,683	15,451
営業外収益	814	946	1,499	918	1,135
営業外費用	464	667	559	1,262	623
支払利息＋社債利息	180	165	231	166	135
経常利益	14,730	17,100	14,098	15,339	15,964
特別利益	319	1,482	454	71	1,329
特別損失	1,420	3,983	802	1,107	2,541
税金等調整前当期純利益	13,630	14,599	13,751	14,303	14,752
法人税等合計	5,528	5,651	5,123	5,217	4,738
当期純利益：2015 年 3 月以降	8,101	8,948	8,627	9,084	10,013
非支配株主に帰属する当期純利益	14	1	-3	-12	2
親会社株主に帰属する当期純利益	8,087	8,947	8,631	9,098	10,011
その他の包括利益	4,318	4,084	5,742	-5,913	-708
包括利益	12,419	13,032	14,369	3,171	9,305
親会社株主に係る包括利益	12,374	12,973	14,329	3,212	9,333
非支配株主に係る包括利益	45	59	40	-40	-28

表 8

ロート製薬株式会社の事業利益の計算

［単位：百万円］

事業利益の計算	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
経常利益	14,730	17,100	14,098	15,339	15,964
支払利息	180	165	231	166	135
社債利息	0	0	0	0	0
事業利息	14,910	17,265	14,329	15,505	16,099

表 9

ロート製薬株式会社の連結キャッシュ・フロー計算書

［単位：百万円］

連結キャッシュ・フロー計算書	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
営業活動による CF	16,702	18,661	11,292	11,324	13,428
投資活動による CF	-10,595	-12,620	-9,024	-6,066	-9,511
フリー・キャッシュ・フロー	6,107	6,041	2,268	5,258	3,917
財務活動による CF	-3,408	-5,211	-3,375	-5,898	-2,335
現金および現金同等物の換算差額	1,742	1,849	2,775	-1,998	-633
現金および現金同等物の純増加額	4,441	2,678	1,667	-2,638	947
現金および現金同等物の期首残高	15,381	19,867	23,026	25,093	22,495
現金および現金同等物の期末残高	19,867	23,026	25,093	22,495	23,466

表 10

ロート製薬株式会社の財務分析表

［単位：百万円］

財務分析表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
収益性分析					
ROE（自己資本純利益率）	9.8%	9.6%	9.3%	8.3%	9.1%
売上高当期純利益率	6.3%	6.2%	5.3%	5.4%	6.5%
自己資本回転率	1.6	1.5	1.1	1.5	1.4
ROA（総資本事業利益率）	11.0%	11.5%	8.8%	8.7%	9.0%
売上高事業利益率	11.5%	12.0%	9.4%	9.3%	10.4%
総資本回転率	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9
売上総利益率	59.1%	59.7%	59.5%	59.7%	59.1%
売上原価率	40.9%	40.3%	40.5%	40.3%	40.9%
売上高営業利益率	11.1%	11.7%	8.7%	9.4%	10.0%
短期的支払能力分析					
流動比率	158.6%	156.3%	146.5%	162.6%	171.4%
当座比率	105.0%	104.3%	90.5%	100.7%%	101.5%
長期的支払能力分析					
負債比率	63.3%	61.2%	45.6%	61.2%	62.0%
自己資本比率	60.9%	61.7%	85.9%	61.7%	61.4%
利益カバー比率	8283.3%	10463.6%	6203.0%	9340.4%	11925.2%
長期運用安定性分析					
固定比率	78.2%	78.8%	56.9%	76.5%	70.6%
固定長期適合率	71.1%	72.4%	75.1%	69.9%	64.7%

表 11

ロート製薬株式会社の利益・株価分析表

財務分析表	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
	25 年 3 月期	26 年 3 月期	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期
当期純利益：2015 年 3 月以前（百万円）	8,184	8,087	8,947.0	8,631.0	9,098.0
当期純利益増加率	―	-1.2	10.6	-3.5	5.4
株価（円）	1035 (2013/3/30)	1292 (2014/3/29)	1822 (2015/3/31)	1708 (2016/3/31)	2050 (2017/3/31)
株価上昇率	―	24.8	41.0	-6.3	20.0
発行済株式総数（株）	117919596 (2013/3/30)	117924768 (2014/3/29)	117929250 (2015/3/31)	117929250 (2016/3/31)	117929250 (2017/3/31)
株式時価総額（百万円）	1,220,468	1,523,588	2,148,671	2,014,232	2,417,550
株式時価総額増加率	―	24.8	41.0	-6.3	20.0
EPS（円）	69.40	68.58	75.87	73.19	77.15
PER（倍）	149.13	188.40	240.16	233.37	265.72

表 12

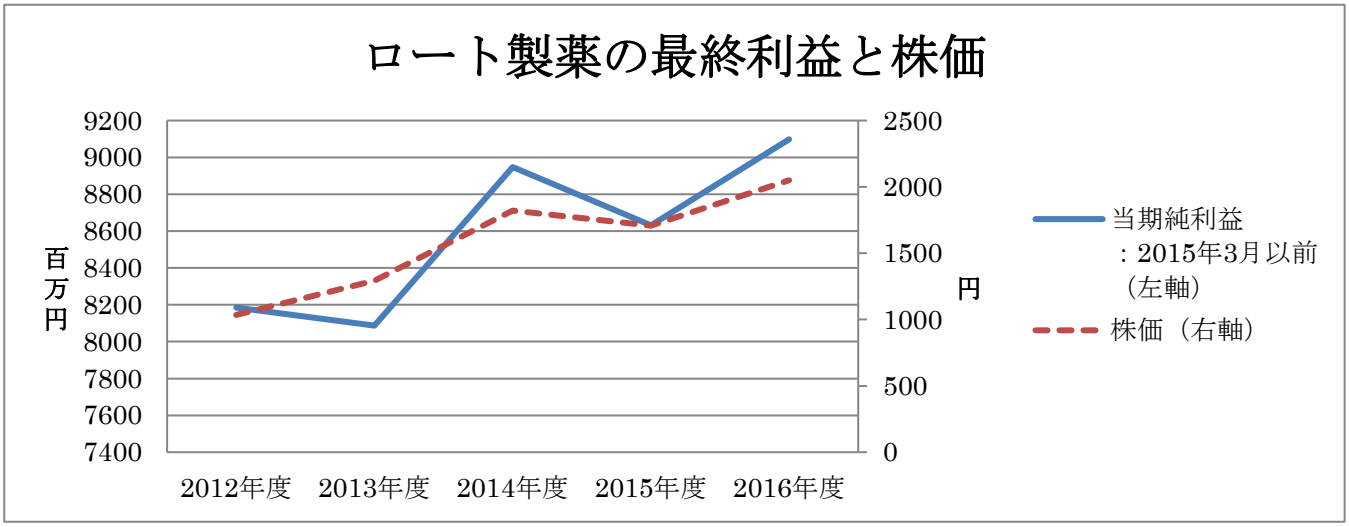

図 3　最終利益と株価の推移

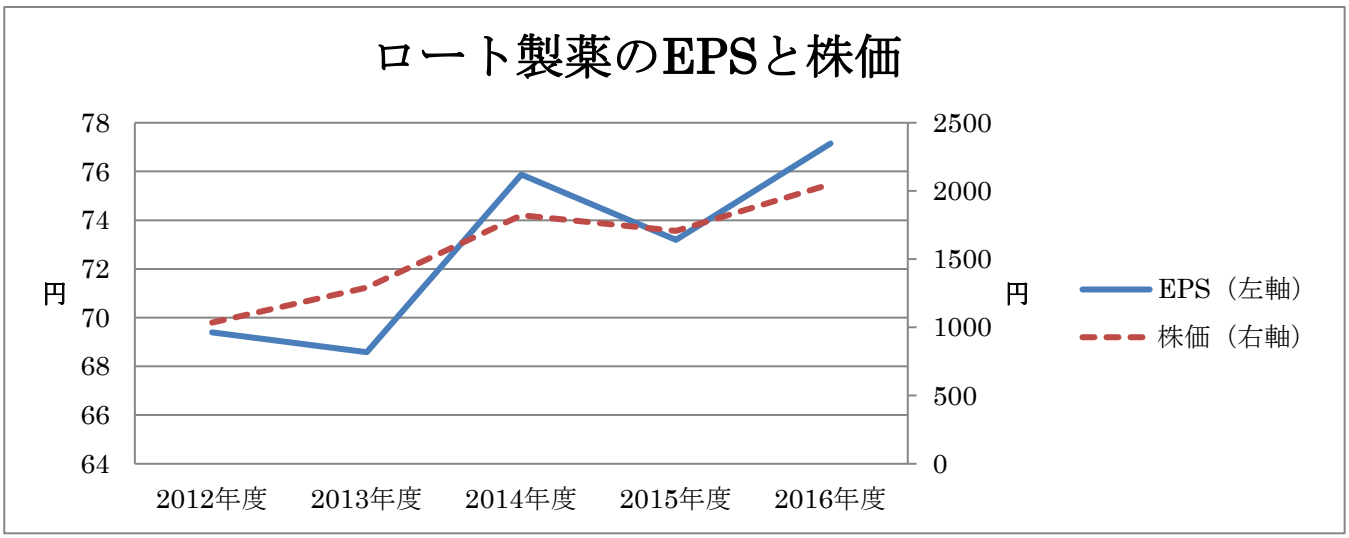

図 4　EPS と株価の推移

3.　企業分析と経営比較

ここからは、上記で示した連結貸借対照表、連結損益および包括利益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、財務分析表のデータを参考にしながら、小林製薬株式会社とロート製薬株式会社の企業分析・経営比較を行う。

3.1　収益性分析

収益性分析とは、会社の利益を生み出すことができる力を、その構造的な面から測定する指標分析のことである。

3.1.1　ROE（自己資本純利益率）

ROE とは、株主の持分である自己資本に対して、どれだけの当期純利益が生み出されているかを示す指標のことである。つまり ROE は、自己資本と当期純利益によって構成されている。

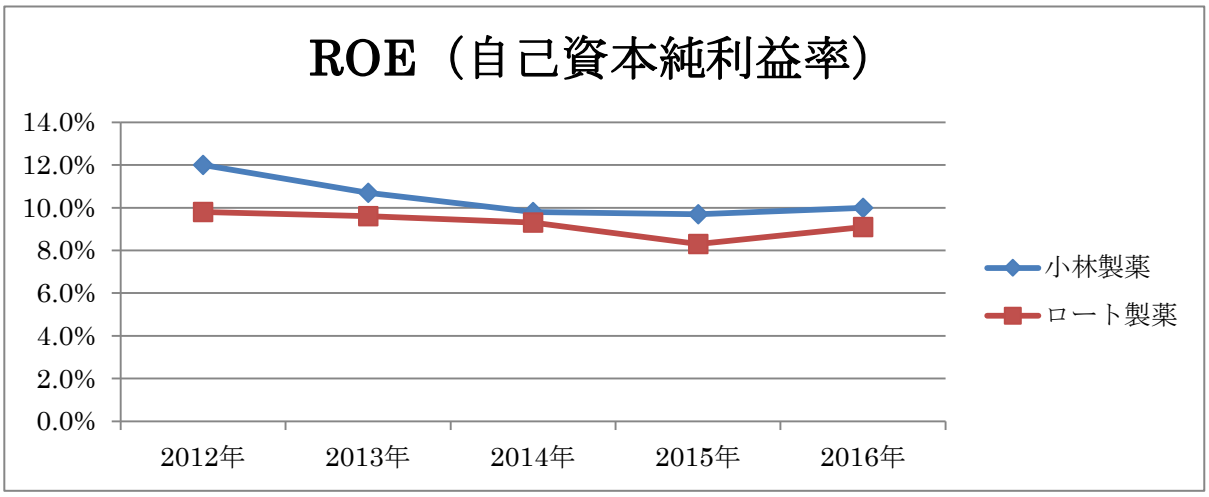

図 5　ROE の推移

小林製薬は 2012 年以降減少を続けていたが、2014 年を境に徐々に回復しつつある。ロート製薬も 2012 年以降減少を続けていたが、2015 年を境に取り戻した。

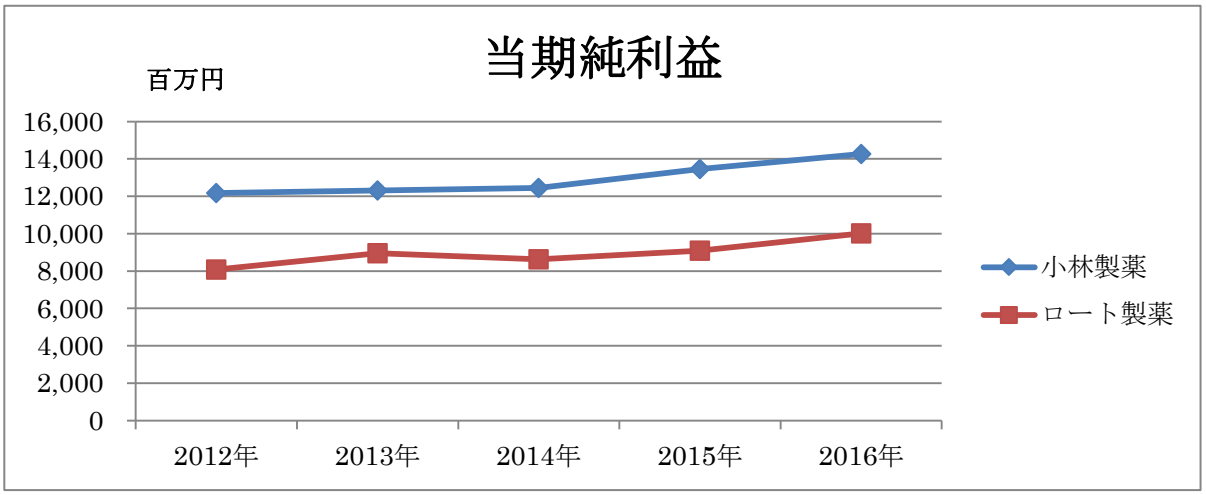

図 6　当期純利益の推移

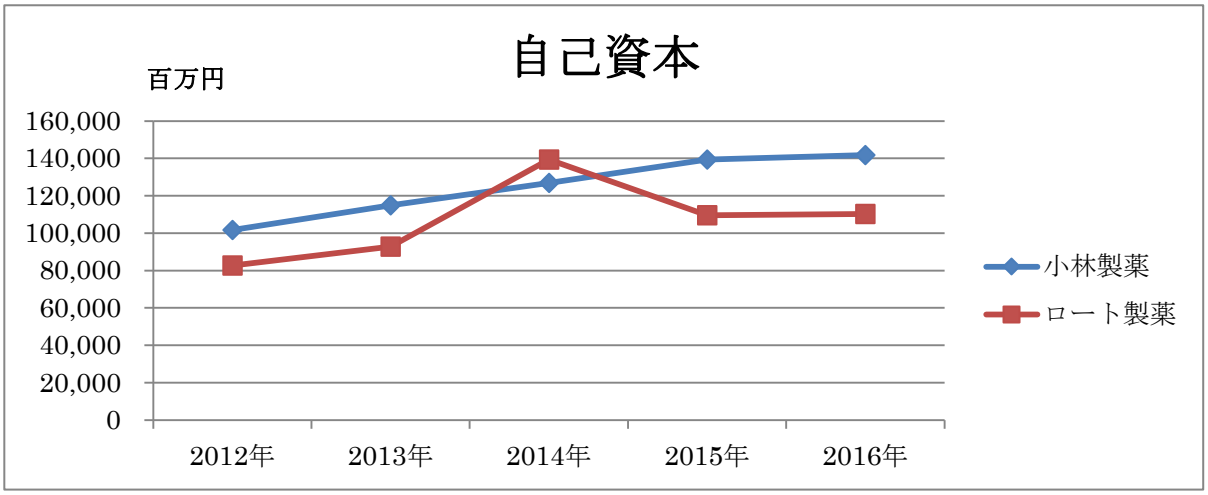

図 7　自己資本の推移

図 5 を見ると、小林製薬とロート製薬とで約 40 億～50 億もの差があるものの、どちらも増加傾向にあり、非常に好調であるといえる。また、どちらも 2014 年から当期純利益が大幅に増加している。2014 年、小林製薬は咳・気管支炎を改善する漢方薬ダスモック、男性用化粧水メンズケシミン、若い女性向けの芳香消臭剤 Sawaday PINKPINK、ロート製薬はブルーライト対策用目薬ロート デジアイ、薬用デオドラントデオボール、大人ニキビの治療薬アクネス 25 などの新商品を発売し、どちらもそれが売上の増加につながった。図 6 を見ると、ロート製薬が 2013 年から 2014 年にかけて大幅に増加したものの、2014 年から 2015 年にかけては大幅に減少している。2015 年以降は安定している。

3.1.2　ROA（総資本事業利益率）

ROA とは、会社に投下されているすべての資本による収益力のことである。総資本と事業利益によって構成されている。

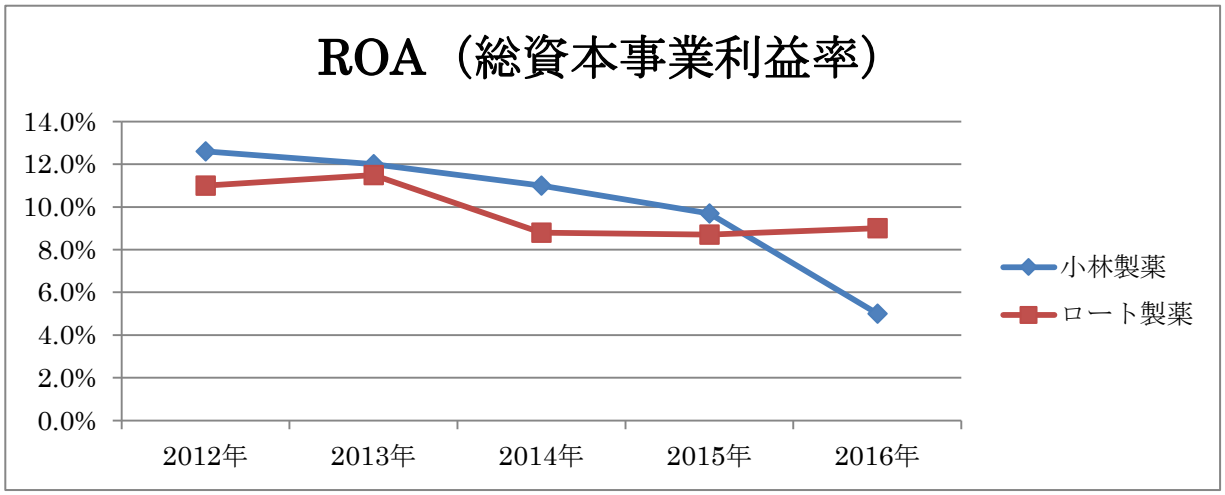

図 8　ROA の推移

図 8 を見ると、小林製薬、ロート製薬ともに増加傾向にあり、どちらも同じくらいの数値で競い合っている。図 9 を見ると、どちらのグラフも図 7 のグラフと非常によく似た形をしている。2015 年には図 7 と同様に小林製薬の数値が大きく減少しており、このことから小林製薬の ROA の大幅な減少は、事業利益の減少が原因であることが分かる。

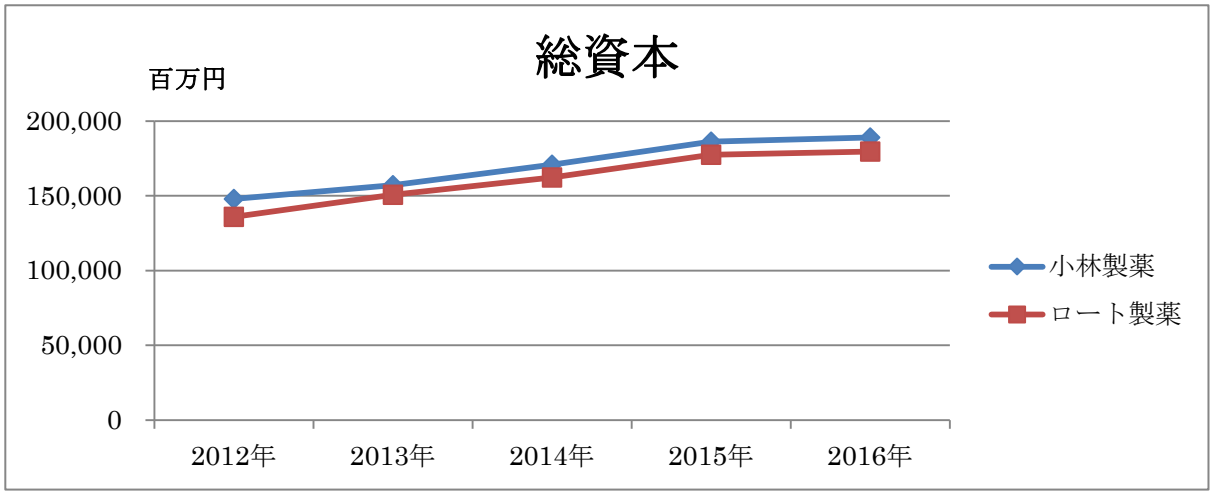

図 9　総資本の推移

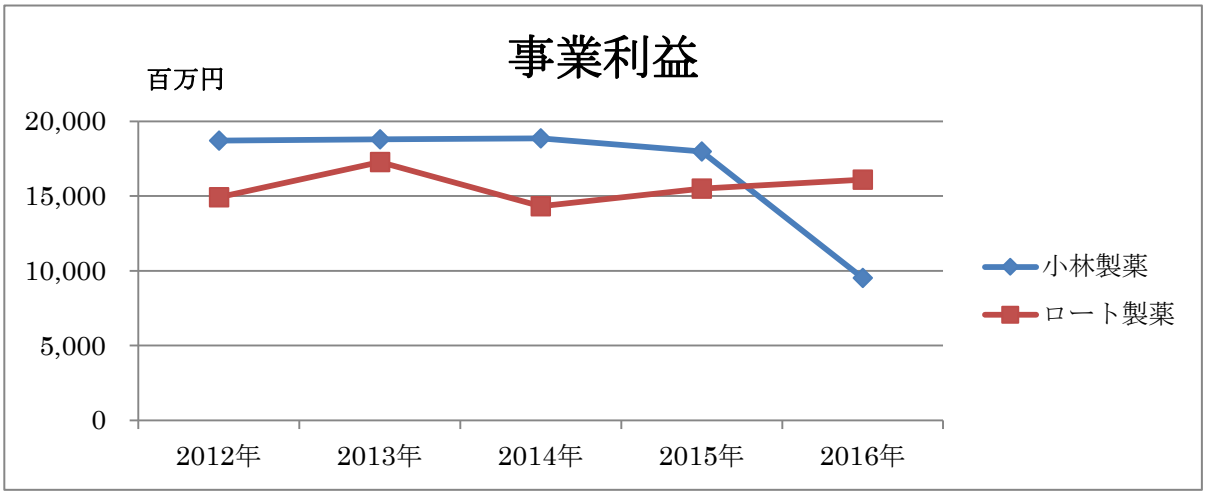

図 10　事業利益の推移

図 8 を見ると、小林製薬、ロート製薬ともに増加傾向にあり、どちらも同じくらいの数値で競い合っている。図 9 を見ると、どちらのグラフも図 7 のグラフと非常によく似た形をしている。2015 年には図 7 と同様に小林製薬の数値が大きく減少しており、このことから小林製薬の ROA の大幅な減少は、事業利益の減少が原因であることが分かる。

3.1.3　売上高販管費率と売上高営業利益率

売上高販管費率とは、売上高に対して販売費・一般管理費がどれだけ占めているかを見る指標のことである。売上高営業利益率とは、企業の売上高に対して、営業利益が占める割合を示す指標のことである。

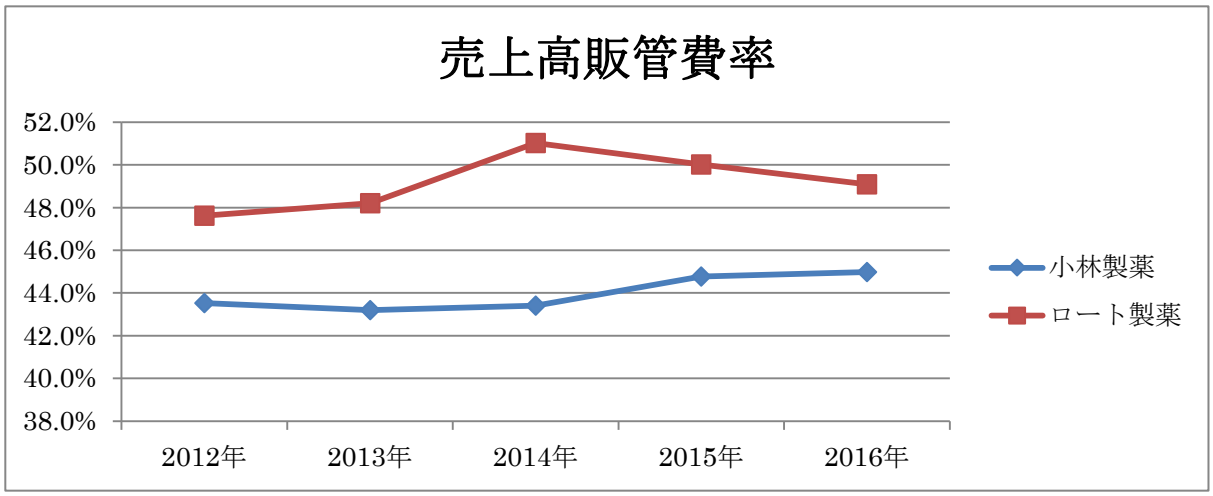

図 11　売上高販管費率の推移

今までのグラフとは対照的に、ロート製薬が小林製薬を多少上回っているが、2014 年以降徐々に減少し、小林製薬の数値に近づきつつある。小林製薬は 2014 年以降徐々に増加している。

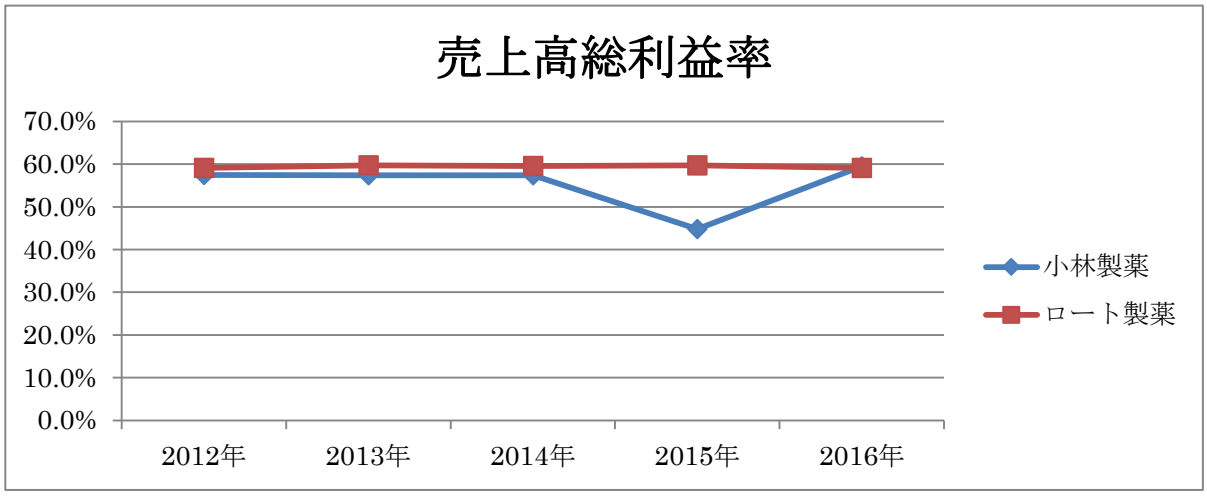

図 12　売上高総利益率の推移

図 10 より、ロート製薬は販管費に多額の資金を投下している分、約 60%という高い利益率を維持し続けているため、この方策は成功しているといえる。反対に小林製薬は 2014 年以降、販管費に割く資金を増やしたものの、2014 年に大幅に利益率が減少しているため、これは大きな損失になったといえる。

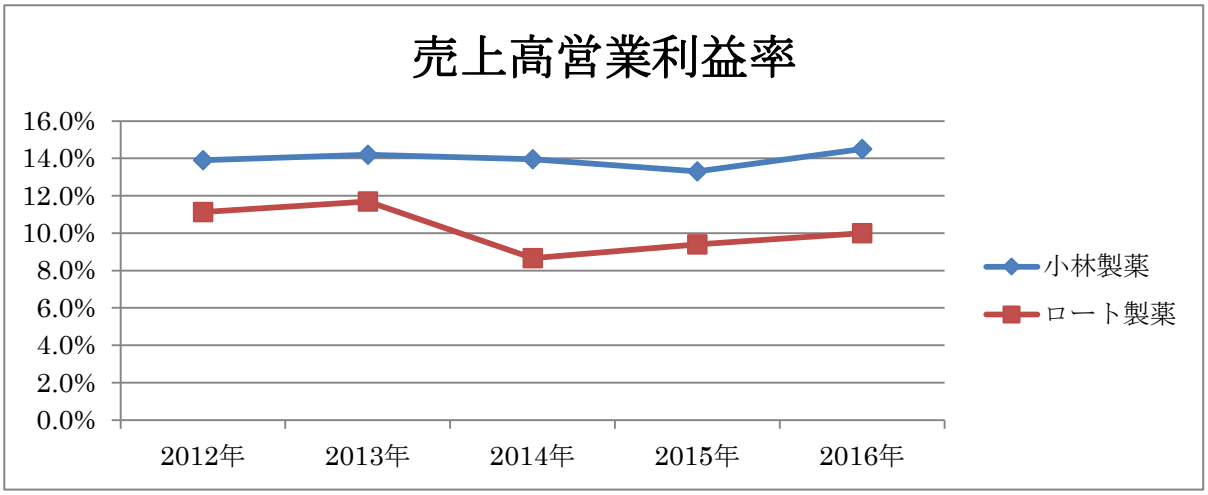

図 13　売上高営業利益率の推移

2013 年以降、ロート製薬が大きく減少したが、2014 年以降また増加し始めている。2013 年の大幅な減少は、消費税増税前のため、業種を超えた企業の新規参入による市場競争の激化が原因とみられる。小林製薬は、2015 年に多少の減少はあったものの、その後は安定している。

3.2　キャッシュ・フロー分析

キャッシュ・フローとは、入ってくる資金（キャッシュインフロー）と、出ていく資金（キャッシュアウトフロー）を総称したもので、資金の流れそのもののことである。

キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローの 3 つで構成されている。

3.2.1　営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローとは、会社の本業によるお金の増減を表したものである。

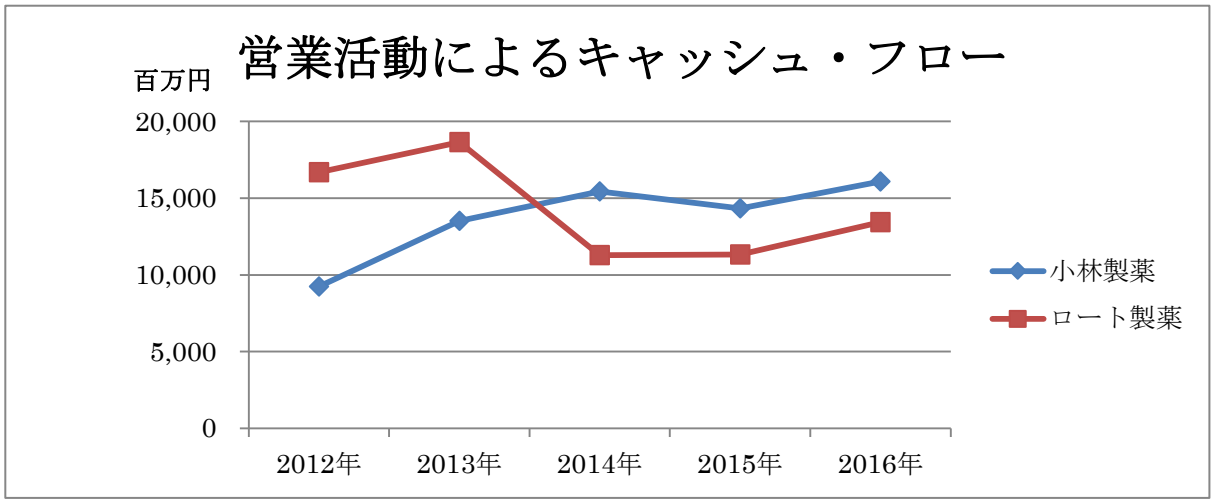

図 14　営業活動によるキャッシュ・フローの推移

小林製薬、ロート製薬どちらもマイナスは出ておらず金額も増加傾向にあるため、現金不足の心配はなく比較的好調だといえる。ロート製薬は 2013 年大幅に減少したものの、2014 年には取り戻している。

3.2.2　投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローとは、設備投資や、余剰資金の運用におけるお金の増減を表したものである。

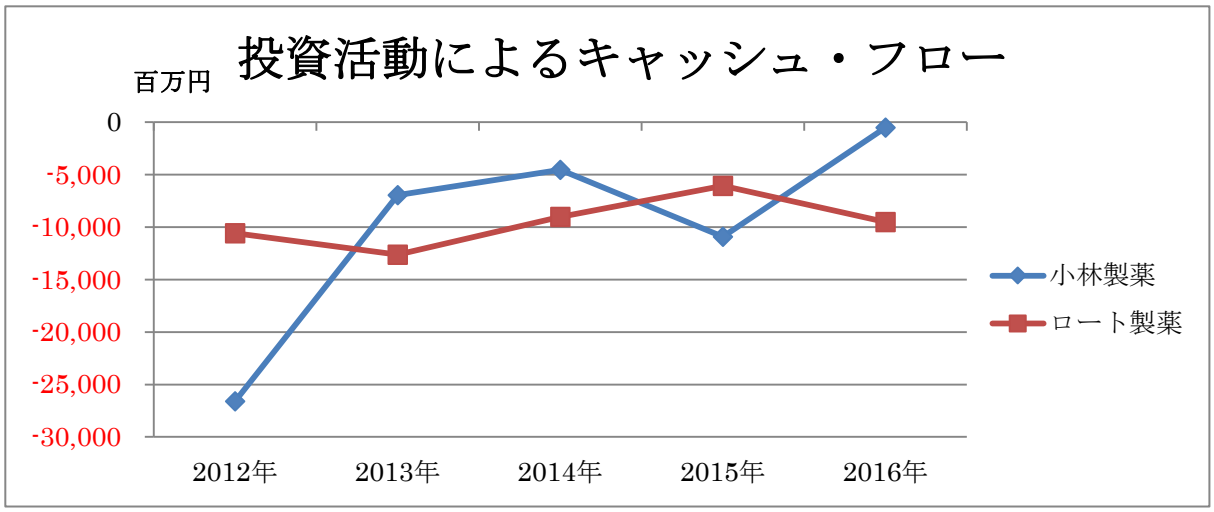

図 15　投資活動によるキャッシュ・フローの推移

ロート製薬は比較的安定しているが、小林製薬は非常に増減の激しいグラフになっている。2012 年から 2013 年にかけての小林製薬の大幅な増加は、定期預金の払戻による収入の増加によるものである。

3.2.3　財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローとは、資金調達や、借入金返済などによるお金の増減などを表したものである。

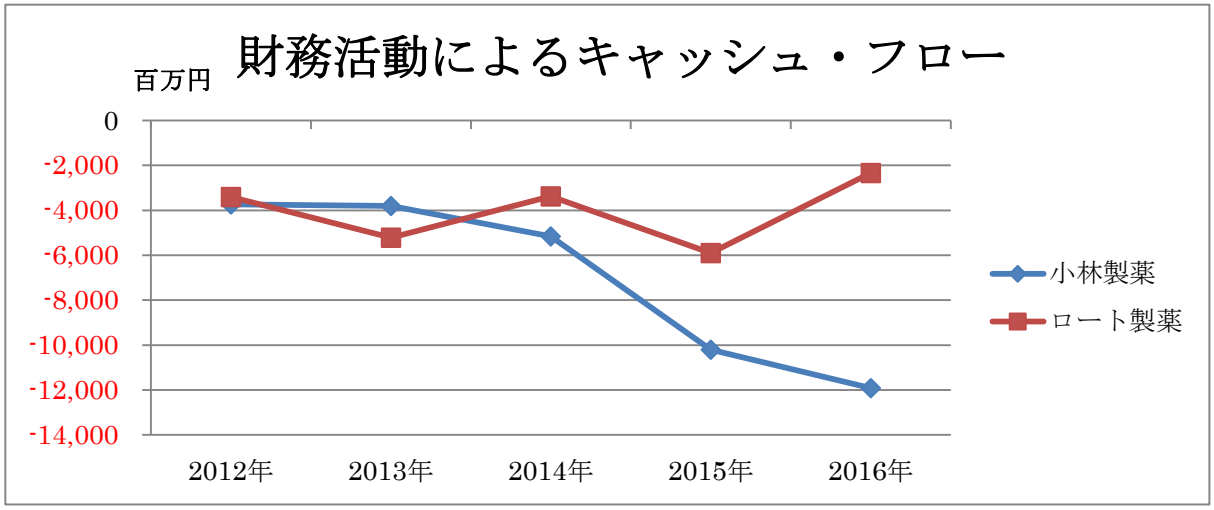

図 16　財務活動によるキャッシュ・フローの推移

ロート製薬は多少の増減はあるものの、0 に近づきつつあるため、好調であるといえる。反対に、小林製薬は 2012 年以降減少傾向にあり、ついに 2014 年には支出が大幅に増え、それ以降も支出が増え続けている。2014 年の大幅な支出増加は、主に配当金の支払額の増加によるものである。キャッシュ・フロー全体を通してみると、ロート製薬より小林製薬が苦戦している傾向にあるといえる。

3.3　財政状態分析

財政状態とは、企業がどのように資金を調達し、どのように運営しているかを表すものである。

3.3.1　流動比率

流動比率とは、流動資産と流動負債の金額を比較することで、企業の短期的な支払能力を簡易的に判断する指標のことである。

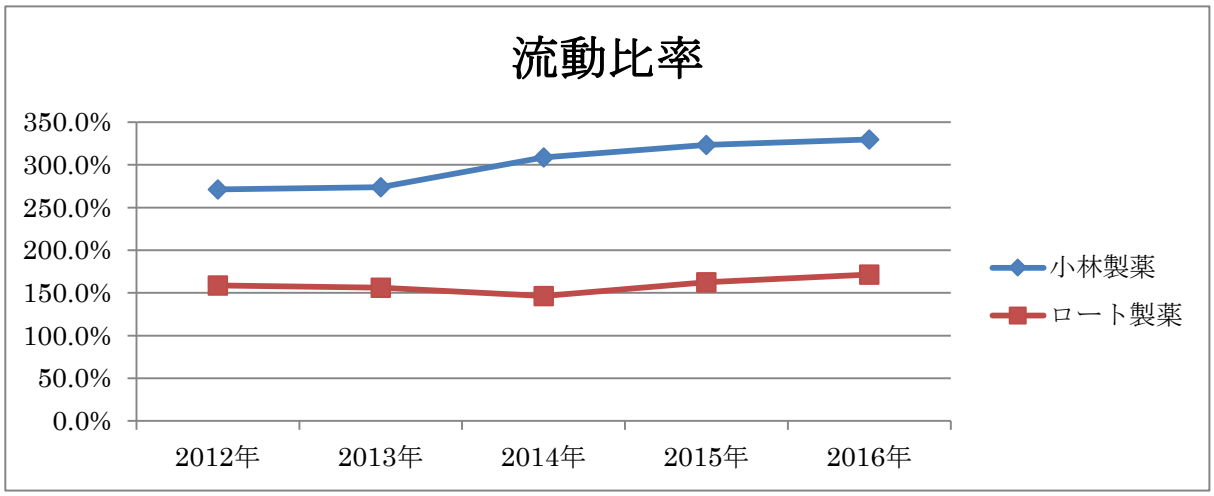

図 17　流動比率の推移

200%あたりを維持していれば安全であるということを考えると、小林製薬は 200%を優に超え、300%あたりを維持しているため、非常に優秀であるといえる。ロート製薬も、200%には満たないものの、170%あたりを維持しており、安定しているといえる。

3.3.2　当座比率

当座比率とは、当座資産と流動負債とを比較することで、企業の短期的な支払能力を判断する指標のことである。

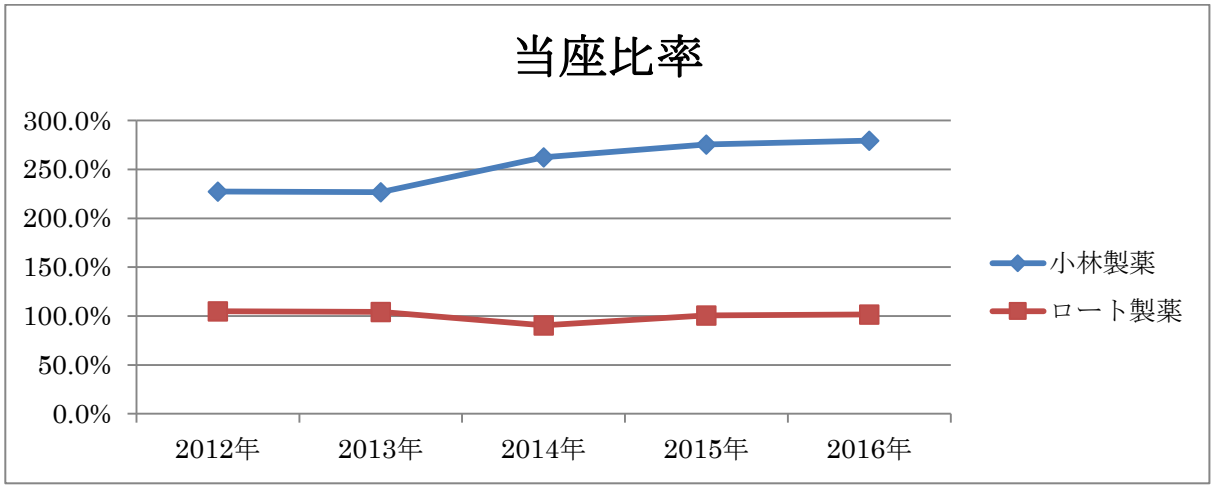

図 18　当座比率の推移

100%あたりを維持していれば、短期的支払能力に問題はないということを考えると、小林製薬は100%を優に超え、300%に到達しそうな勢いを見せている。ロート製薬は 2014 年には 100%を下回ってしまったものの、それ以降は 100%を上回っており、短期的支払能力に問題はないといえる。

3.3.3　固定長期適合率

固定長期適合率とは、固定資産に投資した資金が長期資金でどれだけ賄われているかを見るための指標のことである。

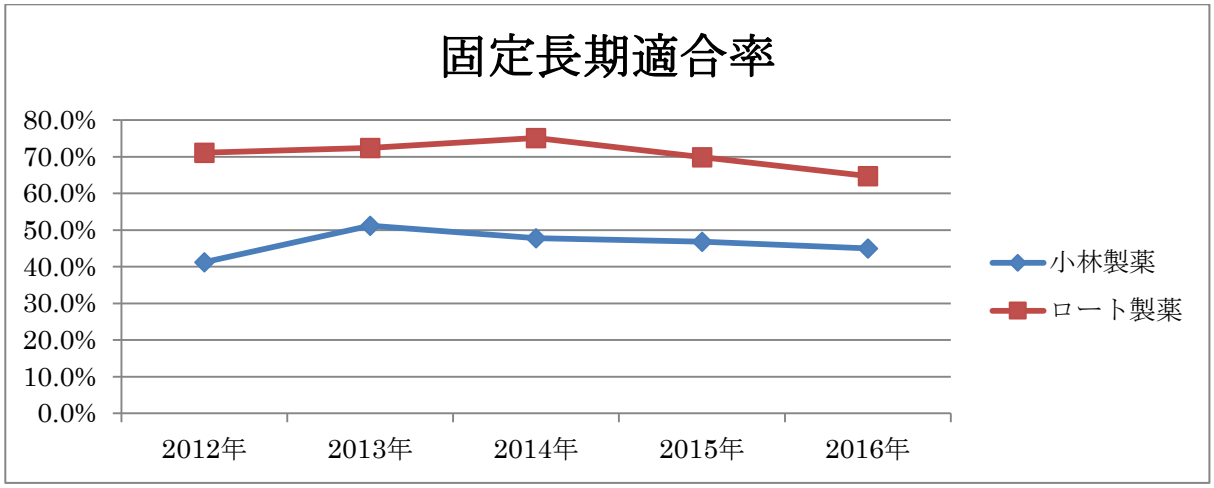

図 19　固定長期適合率の推移

100%以下を維持していれば安全であるということを考えると、どちらも 100 は超えておらず、それでいてなだらかに減少傾向にあるため、好調であるといえる。

4.まとめ

全体的に、小林製薬の方が売上面では優れているが、ロート製薬もキャッシュ・フロー分析において、非常に優秀な結果をたたき出していることがわかった。どちらの企業も消費者のことを第一に考えて行動しているということを改めて実感した。

今回小林製薬とロート製薬を選んだのは、日常生活で頻繁に使用している製品といえば、この 2 つの企業の製品が真っ先に思い浮かんだからだ。そしてどちらも大阪発の企業であることから、とても親近感を覚えたのと同時に、とても誇りに思った。

どちらの企業も、悪いところは補いつつ、よいところはもっと伸ばしていけるように、これからの日本の未来のために努力を積み重ねていってほしい。

［参考文献］

- 小林製薬株式会社ホームページ　(https://www.kobayashi.co.jp)
- ロート製薬株式会社ホームページ　(http://www.rohto.co.jp/)
- EDINET　(http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/)